

# 校長室通信

令和 7 年 6 月 2 日号  
志免町立志免西小学校  
高良 祐治

天候が大変心配された運動会ですが、1 日延期し開始を 1 時間遅らせることで、何とか実施することができました。子どもたちがこれまで練習に励んできた成果を披露できたことやその様子を保護者や地域の皆様にご覧いただけたこと、本当にうれしく思っています。

## 運動会から子どもが学ぶこと

運動会という、かけっこの順位が何番だったのか、ダンスはどのあたりで踊るのか、紅と白のどちらが勝ったのかなど、どうしても当日の様子や結果が気になりますが、学校教育の視点からは、当日を迎えるまでの過程や、当日の精一杯の頑張りを、今後の学校生活にどのように活かすのかが大切だと思っています。

例えば、次のようなことです。

### ■ 目標を立て、達成のために努力する

ダンスの振り付けやリレーのバトンパスなど、子どもたちにとっては、習得しなくてはいけないことがたくさんあり、しかも運動会という親を含めた多くの人たちから見られている中で披露しなくてはいけない。これはなかなかのプレッシャーです。

しかし、子どもたちは、限られた時間の中で自分の中にある理想の完成形を目指して練習に励んでいました。

このような「いつまでに、何を、どのように仕上げる」という自分の目標に、粘り強く取り組んだ経験は、自信となり、他の場面でも発揮されると思います。

### ■ 友だちと協力し、創り上げる

運動会の各種目は、学年単位で行います。表現や競争遊技はもちろん、徒競走のような個人競技についても、入退場や応援は友だちと一緒にいきます。

自分勝手な行動ではなく、周りの友だちの動きを意識し、呼吸を合わせながら、しかも 150 人を超える大人数で活動する経験は、運動会でしか味わうことはできません。

学校教育では、個性を大切にしつつも、社会生活の基礎として、協調しながら何かを創り上げていくことも経験も大切にしています。

### ■ 時間を意識して行動する

このように学年単位で活動することが増えると、集合時間に遅れず行動することが求められます。特に、

運動会に向けた練習期間は、運動場と体育館の使用割りが細かく決められています。「何時何分から、どこで、何の練習があるのか」を一人一人が自覚して行動しないと周りに迷惑をかけることにもなります。

このことは、学習時間、休み時間、給食時間、掃除時間など、日常の学校生活でも当然求められることです。

### ■ 切り替えて行動する

号令に合わせて元気いっぱいに出かけ声を出したり、友だちを大きな声で応援したりするときもあれば、体育館への移動の時など、他の学級に迷惑をかけないように、声や足音などに気をつけて、静かに行動するときもあります。

この「静と動」を意識した行動も運動会に向けた練習や本番の様々な場面で求められます。「いま、どのように行動すべきか」を考える習慣を身に付けることができたと思います。

### ■ 多くの人に支えられていることに感謝する

1 日延期となった運動会当日の朝、裸足になって運動場に土を入れた職員や PTA の皆様がいました。その部分は土の色が違うので、すぐに分かります。

「何とか少しでもいい環境で、運動会を実施してあげたい」というこの思いは、子どもたちにも伝わったのではないのでしょうか。

子どもたち一人一人は、親や先生、周りの友だちや地域の人々に支えられて、日々の生活を送っています。運動会は、それが実感できる行事です。

他にも色々あるのですが、運動会という一つの学校行事を通して、子どもたちは、「自分の責任を果たす」ことの大切さを学んだと思います。

この一人一人の成長を実感させ、これからの教育活動で、さらに伸ばしていけるように支援していきたいと思います。

運動会へのご理解ご協力ありがとうございました。